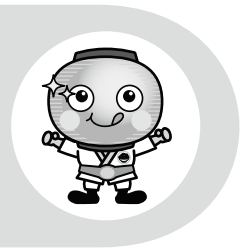


とばた のうぎょう ようす
**戸畑の農業の様子を
 のぞいてみよう!**

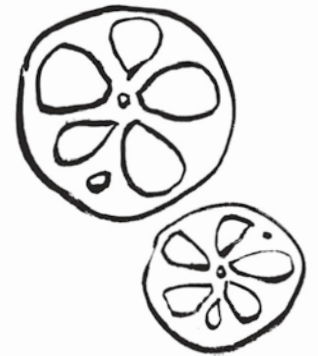


じゅうたくち ひろ いま とばた むかし とばた
 住宅地が広がる今の戸畑からはそうぞうできませんが、昔は戸畑のま
 のうぎょう
 ちでも農業がさかんでした。

とばた たい とち すく えどじだい こめ
 戸畑には平らな土地が少なかったので、江戸時代から、米のほかに、
 だいこん レンコン、はぜ げんりょう
 そば、大根、レンコン、樫(ろうそくの原料)などがつくられていました。

また、おお かわ いけ やさい ひつよう みず て い
 また、大きな川や池がなかったので、野菜に必要な水を手に入れるた
 め、まちのいろいろなところ*いけ*に池やぬまがつくられました。

ねん ぶんか ねん よみやいけ げんざい しょうぶいけ しんいけ げん
 1816年(文化13年)につくられた夜宮池(現在の菖蒲池)や新池(現
 ざい た ひと
 在はうめ立てられています)もその一つです。



しょうわ だいこん
 昭和のころには、レンコンや大根
 のほかに、キャベツやジャガイモな
 やさい
 どの野菜もつくられていました。

とばた こうじょう みせ
 しかし、戸畑のまちに工場や店、
 いえ
 家がたくさんできてきたため、田や
 はたけ ねん しょうわ ねん
 畑は1965年(昭和40年)ごろには、
 とばた
 戸畑からほぼなくなってしまいました。



しんせんそばこうさくち せきひ とびはたはちまんぐう けいだい
 「神饌蕎麦耕作地」の石碑。飛幡八幡宮の境内に
 あります。むかし とばた とばた
 昔、戸畑では、「戸畑そば」といって、お
 いいそばがつくられていました。



しょうわ はじ ようす げんざい
 昭和の初めごろのレンコンのうえつけの様子。現在
 ふくりゅうぎ ちょうめ
 の福柳木1丁目ふきんです。



ねん しょうわ ねん いちえだ はたけ
 1958年(昭和33年)の一枝のキャベツ畑